

≪ 卒業生は今 ≫

— 漁業に就職して感じたこと —

漁業高等学園では、昭和45年の設立以来、昨年度までの卒業生は887名に達し、様々な漁業で活躍しています。そこで、卒業生が、今、どんな漁業に携わっているのか、就業してどんな感想を持ったかなど、紹介します。

No.27 Iくん（平成28年3月卒・現16歳）遠洋カツオ一本釣り漁船

Q. 仕事の内容は？

- * 学園を卒業して初の航海であり、全般的に作業を見ていることが多かった。
- * 先輩船員と一緒に機関の当直（ワッチ）に入った。
- * 魚釣りを行った。

Q. 大変なことは？

- * 前日に釣って魚艤に入れた魚を別の魚艤に移動する作業（魚ごし）は、午前2時起きなので大変であった。
- * 水揚げ作業全般が大変であった。

Q. 良いこと、楽しいことは？

- * 船での生活自体が楽しい。
- * 先輩に優しくしてもらった。

Q. 学園在学中の思い出は？

- * 実習船「やいづ」でカツオを釣ったり、沖縄へ行ったことが思い出に残っている。

Q. 学園で学んだ（身に付けた）ことで、現場で役立っていることは？

- * ロープワーク（クラブヒッチ）が役立っている。

☆. 在校生へのアドバイス

- * 1年目を頑張れる力と体力は付けておいた方が良い。

(平成28年7月22日)